

# 具体的な研修目標

## A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）

	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例の数え方	修了判定評価基準
<b>A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与</b> 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	社会人、公務員、歯科臨床研修医としての基本的な心構えをよく認識のうえで研修（業務）を実施	設けない	研修中に改善すべき点があれば、上級医より指摘し内容に応じた具体的な改善策を提案のうえ改善に導く。	設けない	各項目とも評価票Ⅰの「3. 期待通り」以上の評価をめざす。
<b>A-2. 利他的な態度</b> 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先するとともにQOLに配慮し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。					
<b>A-3. 人間性の尊重</b> 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。					
<b>A-4. 自らを高める姿勢</b> 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。					

## B. 資質・能力

	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例の数え方	修了判定評価基準
<b>B-1. 医学・医療における倫理性</b> 診療、研究、教育に関する倫理的問題を認識し、適切に行動する。 ①人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。 ②患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。 ③倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。 ④利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。 ⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	①患者のプライバシーに配慮し守秘義務を果たす ②利益相反の存在を認識する ③不正行為の防止に努める	設けない	研修中に改善すべき点があれば、上級医より指摘し内容に応じた具体的な改善策を提案のうえ改善に導く。	設けない	各項目とも評価票Ⅱの「レベル3」の評価をめざす。
<b>B-2. 歯科医療の質と安全の管理</b> 患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。 ①医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。 ②日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。 ③医療事故等の予防と事後の対応を行う。 ④歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。 ⑤医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。					
<b>B-3. 医学知識と問題対応能力</b> 最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。 ①頻度の高い疾患について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。 ② 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。 ③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。 ④ 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。					
<b>B-4. 診療技能と患者ケア</b> 臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・移行に配慮した診療を行う。 ①患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。 ② 診察・検査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。 ③ 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。 ④ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。					
<b>B-5. コミュニケーション能力</b> 患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係を築く。 ①適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。 ② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。 ③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。					
	「C. 基本的診療業務」の項で具体的な到達目標を設定。				

## B. 資質・能力

	研修内容	必要な症例数	研修歯科医師の指導体制	症例の数え方	修了判定評価基準
<b>B-6. チーム医療の実践</b> 医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。 ① 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。 ② 多職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。 ③ 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。					
<b>B-7. 情報・科学技術を活かす能力</b> 発達し続ける情報社会を理解し、人工知能(AI)やデータ活用を含めた高度科学技術を活用していく。 ① 情報倫理(AI 倫理を含む)及び個人情報を含むデータ保護に関する原則を理解し、実践する。 ② 健康・医療・介護に関わる情報倫理及びデータ保護に関する原則を理解し、実践する。 ③ 医療・保健・介護分野でのInternet of Things (IoT)技術やAI 等のデータの適切な活用について理解する。					
<b>B-8. 社会における歯科医療の実践</b> 医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。 ① 健康保険を含む保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。 ② 地域の健康問題やニーズ把握など、公衆衛生活動を理解する。 ③ 予防医療・保健・健康増進に努める。 ④ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。 ⑤ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要について理解する。	「C. 基本的診療業務」の項で具体的な到達目標を設定。				各項目とも評価票Ⅱの「レベル3」の評価をめざす。
<b>B-9. 科学的探究</b> 医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。 ① 医療上の疑問点に対応する能力を身に付ける。 ② 科学的研究方法を理解し、活用する。 ③ 臨床研究や治験の意義を理解する。					
<b>B-10. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢</b> 医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。 ① 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。 ② 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。 ③ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌等を含む。）を把握する。					

## C. 基本的診療業務

	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例の数え方	修了判定評価基準
<b>C-1. 基本的診療能力等</b>					
<b>C-1 (1) 基本的診察・検査・診断・診療計画</b>					
	診察の基本事項を習得し、適切なカルテの記載を目指す	5症例以上			
① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。	初診時、再診時医療面接	5症例以上	上級歯科医が研修歯科医に患者を担当させ、その指導下に研修歯科医が診療を行う	①～⑥まで一連の流れで担当したものを1症例とする。	必要症例数を体験すること
② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。	顎口腔領域の診察と所見の記載				
③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。	画像検査を含めた必要な検査の選択				
④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。	診断に関する口頭試問				
⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の診療計画を検討し、立案する。	診療計画の立案				
⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。	同意書の取得				
<b>C-1 (2) 基本的臨床技能等</b>					
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。	口腔衛生指導を行う	3症例以上	上級歯科医が研修歯科医に患者を担当させ、その指導下に研修歯科医が診療を行う	それぞれの項目毎に担当したものを1症例とする (②、③はa-fそれぞれの項目で1症例)	必要症例数を体験すること
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。 a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	a: レジンもしくはインレー処置 b: 抜髄もしくは感染根管治療 c: スケーリング処置 d: 普通抜歯 e: 義歯作製もしくは義歯修理 f: 口腔ケア	a-f 各3症例以上			
③ 基本的な応急処置を実践する	a: 縫合 b: 歯の固定 c: 顎間固定 d: 切開排膿 e: 破損義歯への対応 f: 脱離補綴物への対応	a-f 各3症例以上			
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。	モニター下の診療	3症例以上			
⑤ 診療に関する記録や文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作成する。	文書（診療録、処方せん、歯科技工指示書等）を作製	3症例以上			
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。	院内医療安全講習会を受講し日々の診療で実践	受講1回以上			
⑦ インシデント、ヒヤリ・ハット事例等を体験したら、報告書等を作成するとともに、その発生要因を分析することにより、必要な対策について理解し、実践する	インシデント発生時に適切な報告を行い、再発防止に努める	1症例以上	上級歯科医の指導の下、院内の規程に基づきインシデント報告をする	担当したものを1症例とする	適切なインシデント報告をし、必要な対策を理解し、再発防止に努めること

## C. 基本的診療業務

	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例の数え方	修了判定評価基準
<b>C-1 (3) 患者管理</b>					
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。	手術予定患者の診察・評価のうえカンファレンスで提示	3症例以上	上級歯科医が研修歯科医に患者を担当させ、その指導下に研修歯科医が診療を行う	それぞれの項目毎に担当したものを1症例とする	必要症例数を経験すること
② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。	診療情報提供書ならびに退院時サマリの作製	3症例以上			
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。	モニター下の診療	3症例以上			
④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。	手術予定患者の診察・評価のうえカンファレンスで提示	3症例以上			
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。	入院患者の全身管理上の問題点の抽出とその解決策の立案・実施（カルテ記載）	3症例以上			
<b>C-1 (4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供</b>					
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し実践する。	ライフステージを念頭においた口腔機能管理計画を立案し実施	5症例以上	研修歯科医が上級歯科医とともに実施	それぞれの項目毎に経験したものを1症例とする	必要症例数を経験すること
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。	ライフステージを念頭においた歯科治療計画を立案し実施	5症例以上			
③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。	在宅患者への訪問歯科診療を経験	3症例以上			
<b>C-2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等</b>					
<b>C-2 (1) 歯科専門職の連携</b>					
① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。	歯科衛生士へ口腔衛生管理に関する適切な指示を行う	3症例以上	上級歯科医が研修歯科医に患者を担当させ、その指導下に研修歯科医が診療を行う	それぞれの項目毎に担当したものを1症例（回）とする	必要症例数（必要回数）を経験すること
② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。	技工指示書を記載のうえで実際に技工物を依頼	3症例以上			
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。	栄養サポートチームのラウンドに参加	1回以上			

## C. 基本的診療業務

	研修内容	必要な症例数	研修歯科医の指導体制	症例の数え方	修了判定評価基準
<b>C-2 (2) 多職種連携、地域医療</b>					
①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。	地域包括ケアシステムについて理解のうえ ①地域歯科医院と連携して介護保険施設入居患者、または在宅療養患者の治療を実施 ②診療情報提供書を記載	1症例以上 (①②を同時に満たす)	上級歯科医が研修歯科医に患者を担当させ、その指導下に研修歯科医が診療を行う	1症例以上	必要症例数(回数)を経験すること
②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。					
③がん患者等の周術期等や回復期等の入院患者等の口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。	がん患者の周術期等や回復期等の口腔機能管理を他の医療職と連携して実施	1症例以上			
④歯科専門職が関与する多職種チーム（例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。	栄養サポートチームのラウンドに参加	1回以上	上級歯科医と共に実施する	参加回数	
<b>C-2 (3) 地域保健</b>					
①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。	地域保健に関する口頭試問	1回以上	上級歯科医の指導下に実施する	実施回数	必要回数を経験すること
②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。					
<b>C-2 (4) 歯科医療提供に関連する制度の理解</b>					
①医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	法規を理解したうえで患者を適切な他医療機関へ紹介	1回以上	上級歯科医と共に、もしくはその指導下に実施する	実施回数	必要回数を経験すること
②医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。	レセプトを確認	1回以上			
③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	介護保険の適応のある患者に対し、ソーシャルワーカーと連携し患者や家族に説明	1回以上			

## 研修歯科医評価票Ⅰ・Ⅱ

研修歯科医名		所属	
観察者氏名		職種	<input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 歯科医師以外 (                      )
記載日		観察期間	～

### 評価票Ⅰ 「A. 歯科医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価

レベル    1：期待を大きく下回る    2：期待を下回る    3：期待通り    4：期待を大きく上回る    -：観察機会なし	1(※)	2	3	4	-
<b>A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与：</b> 社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>A-2. 利他的な態度：</b> 患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>A-3. 人間性の尊重：</b> 患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>A-4. 自らを高める姿勢：</b> 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

コメント：印象に残るエピソードなど（※）レベルが「期待を大きく下回る」の場合は必ず記入をお願いします。

### 評価票Ⅱ 「B. 資質・能力」に関する評価

レベル	1	期待されるレベル（モデル・コア・カリキュラム相当）	3	臨床研修の終了時点で期待されるレベル（到達目標相当）
	2	臨床研修の中間時点で期待されるレベル	4	上級医として期待されるレベル
※各項目については別紙の詳細をご覧ください。				
	-		-	観察機会なし

**B-1. 医学・医療における倫理性：**診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**B-2. 歯科医療の質と安全の管理：**患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**B-3. 医学的知識と問題解決能力：**最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**B-4. 診療技能と患者ケア：**臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**B-5. コミュニケーション能力：**患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**B-6. チーム医療の実践：**医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**B-7. 情報・科学技術を活かす能力：**発達し続ける情報社会を理解し、人工知能(AI)やデータ活用を含めた高度科学技術を活用していく。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**B-8. 社会における医療の実践：**医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**B-9. 科学的探究：**医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

**B-10. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢：**医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自立的に学び続ける。

1	2	3	4	-		コメント
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

## 「B. 資質・能力」に関する評価 について

**B-1. 医学・医療における倫理性：**診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
<p>■医学・医療の歴史的な流れ、臨床倫理や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。</p> <p>■患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントとインフォームドアセントなどの意義と必要性を説明できる。</p> <p>■患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取り扱いができる。</p>	<input type="checkbox"/> 人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。	<input type="checkbox"/> 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。
	<input type="checkbox"/> 患者のプライバシーに最低限配慮し、守秘義務を果たす。	<input type="checkbox"/> 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。
	<input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマの存在を認識する。	<input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	<input type="checkbox"/> 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づいて多面的に判断し、対応する。
	<input type="checkbox"/> 利益相反の存在を認識する。	<input type="checkbox"/> 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。
	<input type="checkbox"/> 診療、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。	<input type="checkbox"/> 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	<input type="checkbox"/> モデルとなる行動を他者に示す。

**B-2. 歯科医療の質と安全管理：**患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
<p>■医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。</p> <p>■医療現場における報告・連絡・相談の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる。</p> <p>■医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる。</p>	<input type="checkbox"/> 医療の質と患者安全の重要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。	<input type="checkbox"/> 医療の質と患者安全について、日常的に認識・評価し、改善を提言する。
	<input type="checkbox"/> 日常業務において、適切な頻度で報告、連絡、相談ができる。	<input type="checkbox"/> 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。	<input type="checkbox"/> 報告・連絡・相談を実践するとともに、報告・連絡・相談に対応する。
	<input type="checkbox"/> 一般的な医療事故等の予防と事後対応の必要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 医療事故等の予防と事後の対応を行う。	<input type="checkbox"/> 非典型的な医療事故等を個別に分析し、予防と事後対応を行う。
	<input type="checkbox"/> 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解する。	<input type="checkbox"/> 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策について理解し、実践する。	<input type="checkbox"/> 歯科診療の特性を踏まえた院内感染対策の現状を評価し、改善策を提言する。
	<input type="checkbox"/> 医療従事者の健康管理と自らの健康管理の必要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。	<input type="checkbox"/> 自らの健康管理、他の医療従事者の健康管理に努める。

**B-3. 医学知識と問題対応能力：**最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
<p>■必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を見出すことができる。適切な自己評価と改善のための方策を立てることができる。</p> <p>■講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことができる。</p>	<input type="checkbox"/> 頻度の高い症候について、基本的な鑑別診断を挙げ、初期対応を計画する。	<input type="checkbox"/> 頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。	<input type="checkbox"/> 主な症候について、十分な鑑別診断と初期対応をする。
	<input type="checkbox"/> 基本的な情報を収集し、医学的知見に基づいて臨床判断を検討する。	<input type="checkbox"/> 患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床判断を行う。	<input type="checkbox"/> 患者に関する詳細な情報を収集し、最新の医学的知見と患者の意向や生活の質への配慮を統合した臨床判断をする。
	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案する。	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。	<input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、患者背景、多職種連携も助成して実行する。
	<input type="checkbox"/> 専門医療を実践するために、問題点を抽出したうえで他医療職と連携するための計画を立案できる	<input type="checkbox"/> 高度な専門医療を要する場合には適切に連携する。	<input type="checkbox"/> 高度な専門医療を要する症例の診療計画を立案し、適切に実行することができる。

**B-4. 診療技能と患者ケア：**臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
<p>■必要最低限の病歴を聴取し、網羅的に系統立てて、身体診察を行うことができる。</p> <p>■基本的な臨床技能を理解し、適切な態度で診断治療を行うことができる。</p> <p>■問題志向型医療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。</p> <p>■緊急を要する病態、慢性疾患、に関して説明ができる。</p>	<input type="checkbox"/> 必要最低限の患者の健康状態に関する情報を心理・社会的側面を含めて、安全に収集する。	<input type="checkbox"/> 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。	<input type="checkbox"/> 複雑な症例において、患者の健康に関する情報を心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。
	<input type="checkbox"/> 基本的な疾患の診察・診査を実施する。	<input type="checkbox"/> 診察・診査の結果を踏まえ、一口腔単位の診療計画を作成する。	<input type="checkbox"/> 一口腔単位の診療計画を作成し、それを実践することができる。
	<input type="checkbox"/> 基本的な疾患の最適な治療を安全に実施する。	<input type="checkbox"/> 患者の状態やライフステージに合わせた、最適な治療を安全に実施する。	<input type="checkbox"/> 複雑な疾患の最適な治療を患者の状態に合わせて安全に実施する。
	<input type="checkbox"/> 最低限必要な情報を含んだ診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切に作成する。	<input type="checkbox"/> 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。	<input type="checkbox"/> 必要かつ十分な診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成でき、記載の模範を示せる。

**B-5. コミュニケーション能力：**患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■コミュニケーションの方法と技能、及ぼす影響を概説できる。 ■良好な人間関係を築くことができ、患者・家族に共感できる。 ■患者・家族の苦痛に配慮し、分かりやすい言葉で心理的社会的課題を把握し、整理できる。 ■患者の要望への対処の仕方を説明できる。	<input type="checkbox"/> 最低限の言葉遣い、態度、身だしなみで患者や家族に接する。	<input type="checkbox"/> 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。	<input type="checkbox"/> 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで、状況や患者家族の思いに合わせた態度で患者や家族に接する。
	<input type="checkbox"/> 患者や家族にとって必要最低限の情報を整理し、説明できる。指導医とともに患者の主體的な意思決定を支援する。	<input type="checkbox"/> 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主體的な意思決定を支援する。	<input type="checkbox"/> 患者や家族にとって必要かつ十分な情報を適切に整理し、分かりやすい言葉で説明し、医学的判断を加味した上で患者の主體的な意思決定を支援する。
	<input type="checkbox"/> 患者や家族の主要なニーズを把握する。	<input type="checkbox"/> 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。	<input type="checkbox"/> 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、統合する。

**B-6. チーム医療の実践：**医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■チーム医療の意義を説明でき、(学生として)チームの一員として診療に参加できる。 ■自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求めることができる。 ■チーム医療における医師の役割を説明できる。	<input type="checkbox"/> 歯科医師としての自分の役割、歯科衛生士、歯科技工士の役割をそれぞれ理解する。	<input type="checkbox"/> 歯科医療の提供にあたり、歯科衛生士、歯科技工士の役割を理解し、連携を図る。	<input type="checkbox"/> 歯科衛生士、歯科技工士と連携した適切な歯科医療を患者に提供することができる。
	<input type="checkbox"/> 他職種が連携した、チーム医療のニーズを把握することができる。	<input type="checkbox"/> 他職種が連携し、チーム医療を提供するにあたり、医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。	<input type="checkbox"/> 他職種が連携した、チーム医療に参加し自分の役割を実践する。
	<input type="checkbox"/> 単純な事例において、医療チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。	<input type="checkbox"/> 医療チームにおいて各構成員と情報を共有し、連携を図る。	<input type="checkbox"/> 医療チームの各構成員と情報を積極的に共有し、連携して最善のチーム医療を実践する。

**B-7. 情報・科学技術を活かす能力：**発達し続ける情報社会を理解し、人工知能(AI)やデータ活用を含めた高度科学技術を活用していく。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■発達し続ける情報社会を理解し、自身の学びや医療に活用する柔軟性を有している。	<input type="checkbox"/> 情報セキュリティやコンプライアンスを理解する。	<input type="checkbox"/> 情報セキュリティやコンプライアンスを理解し、実践する。	<input type="checkbox"/> 情報セキュリティやコンプライアンス遵守について、適切な評価をし、改善のための具体的方策を立てて提案することができる。
	<input type="checkbox"/> 健康・医療・介護に関わる情報倫理及びデータ保護に関する原則を理解する。	<input type="checkbox"/> 健康・医療・介護に関わる情報倫理及びデータ保護に関する原則を理解し、実践する。	<input type="checkbox"/> 健康・医療・介護に関わる情報倫理及びデータ保護について、適切な評価をし、改善のための具体的方策を立てて提案することができる。
	<input type="checkbox"/> 総合的に患者をみることを目的としたAI、データ活用等の必要性について理解できる。	<input type="checkbox"/> 医療・保健・介護分野でのAI、データ活用等の基本的な概念と手法を理解している。	<input type="checkbox"/> AI、データ活用等の基本的な概念と手法を理解し、医療・保健・介護分野への応用例について提示する。

**B-8. 社会における医療の実践：**医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。 ■医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。 ■災害医療を説明できる。 ■(学生として)地域医療に積極的に参加・貢献する。	<input type="checkbox"/> 保健医療に関する法規・制度を理解する。	<input type="checkbox"/> 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。	<input type="checkbox"/> 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解し、実臨床に適用する。
	<input type="checkbox"/> 地域の健康問題やニーズを把握する重要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。	<input type="checkbox"/> 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案・実行する。
	<input type="checkbox"/> 予防医療・保健・健康増進の必要性を理解する。	<input type="checkbox"/> 予防医療・保健・健康増進に努める。	<input type="checkbox"/> 予防医療・保健・健康増進について具体的な改善案などを提示する。
	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムを理解する。	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。	<input type="checkbox"/> 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に積極的に参画する。
	<input type="checkbox"/> 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要が起こりうることを理解する。	<input type="checkbox"/> 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。	<input type="checkbox"/> 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要を想定し、組織的な対応を主導し実際に対応する。

**B-9. 科学的探究：**医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進のために行われることを説明できる。 ■生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	<input type="checkbox"/> 医療上の疑問点を認識する。	<input type="checkbox"/> 医療上の疑問点に対応する能力を身につける。	<input type="checkbox"/> 医療上の疑問点を研究課題に変換し、研究計画を立案する。
	<input type="checkbox"/> 科学的研究方法を理解する。	<input type="checkbox"/> 科学的研究方法を理解し、活用する。	<input type="checkbox"/> 科学的研究方法を目的に合わせて活用実践する。
	<input type="checkbox"/> 臨床研究や治験とはなにかを理解する。	<input type="checkbox"/> 臨床研究や治験の意義を理解する。	<input type="checkbox"/> 臨床研究や治験の意義を理解し、実臨床で協力・実施する。

**B-10. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢：**医療の質の向上のために省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。	<input type="checkbox"/> 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収の必要性を認識する。	<input type="checkbox"/> 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。	<input type="checkbox"/> 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収のために、常に自己省察し、自己研鑽のために努力する。
	<input type="checkbox"/> 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。	<input type="checkbox"/> 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。	<input type="checkbox"/> 同僚、後輩、歯科医師以外の医療職と共に研鑽しながら、後進を育成する。
	<input type="checkbox"/> 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)の重要性を認識する。	<input type="checkbox"/> 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握する。	<input type="checkbox"/> 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握し、実臨床に活用する。

研修歯科医氏名 ( )

## 研修歯科医評価表Ⅲ「C. 基本的診療業務」に関する評価

	研修内容	必要な症例数	症例の数え方	自己評価	指導評価
<b>C-1. 基本的診療能力等</b>	1: 全く不十分。 2: やや不十分。 3: ほぼ達成(到達目標相当)。 4: 十分達成。 ー: 現在までに(実施/観察)機会なし。				
<b>C-1 (1) 基本的診察・検査・診断・診療計画</b>	↓				
① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。	初診時、再診時 医療面接	5症例 以上	①～⑥まで一連の流れで担当したものを1症例とする。		
② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。	顎口腔領域の診察と所見の記載				
③ 診察所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。	画像検査を含めた必要な検査の選択				
④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。	診断に関する口頭試問				
⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で考え得る様々な口腔単位の診療計画を検討し、立案する。	診療計画の立案				
⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。	同意書の取得				

## C-1 (2) 基本的臨床技能等

① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。	口腔衛生指導を行う	3症例以上	それぞれの項目毎に担当したものを1症例とする(②, ③はa-fそれぞれの項目で1症例)			
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。 a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下	a: レジンもしくはインレー処置 b: 抜髄もしくは感染根管治療 c: スケーリング処置 d: 普通拔牙 e: 義歯作製もしくは義歯修理 f: 口腔ケア	a-f 各3症例以上		a		
③ 基本的な応急処置を実践する。	a: 縫合 b: 歯の固定 c: 顎間固定 d: 切開排膿 e: 破損義歯への対応 f: 脱離補綴物への対応	a-f 各3症例以上		b		
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。	モニター下の診療	3症例以上		c		
⑤ 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。	文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作製	3症例以上		d		
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。	院内医療安全講習会を受講し日々の診療で実践	受講1回以上		e	出席回数	
⑦ インシデント、ヒヤリ・ハット事例等を経験したら、報告書等を作成するとともに、その発生要因を分析することにより、必要な対策について理解し、実践する。	インシデント発生時に適切な報告を行い、再発防止に努める	1症例以上		f		

C-1 (3) 患者管理

① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。	手術予定患者の診察・評価のうえカンファレンスで提示	3症例以上	それぞれの項目毎に担当したものを1症例とする		
② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。	診療情報提供書ならびに退院時サマリの作製	3症例以上			
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。	モニター下の診療	3症例以上			
④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。	手術予定患者の診察・評価のうえカンファレンスで提示	3症例以上			
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。	入院診療計画書の作成	3症例以上			

C-1 (4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供

① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し実践する。	ライフステージを念頭においた口腔機能管理計画を立案し実施	3症例以上	それぞれの項目毎に経験したものを1症例とする		
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。	ライフステージを念頭においた歯科治療計画を立案し実施	3症例以上			
③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。	病床への訪問診療を実施	3症例以上			

	研修内容	必要な症例数	症例の数え方	評価	
<b>C-2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等</b>					
<b>C-2 (1) 歯科専門職の連携</b>					
① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。	歯科衛生士へ口腔衛生管理に関する適切な指示を行う	3症例以上	それぞれの項目毎に担当したものを1症例(回)とする		
② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。	技工指示書を記載のうえ実際に技工物を依頼	3症例以上			
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。	栄養サポートチームのラウンドに参加	1回以上	参加回数		

## C-2 (2) 多職種連携、地域医療

①地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。	地域包括ケアシステムについて理解のうえ ①地域歯科医院と連携して介護保険施設入居患者、または在宅療養患者の治療を実施 ②診療情報提供書を記載	1症例以上 (①②を同時に満たす)	それぞれの項目毎に担当したものを1症例とする		
②地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。					
③がん患者等の周術期等や回復期等の入院患者の口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。	がん患者の周術期等や回復期等の入院患者の口腔機能管理を他の医療職と連携して実施	1症例以上			
④歯科専門職が関与する多職種チーム（例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等）について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。	栄養サポートチームのラウンドに参加	1回以上	参加回数		

## C-2 (3) 地域保健

①地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。	地域保健に関する口頭試問	1回以上	実施回数		
②保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。					

## C-2 (4) 歯科医療提供に関連する制度の理解

①医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	法規を理解したうえで患者を適切な他医療機関へ紹介	1回以上	実施回数		
②医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。	レセプトを確認	1回以上			
③介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。	介護保険の適応のある患者に対し、ソーシャルワーカーと連携し患者や家族に説明	1回以上			

研修歯科医氏名 ( )

目標達成判定票		
	達成状況 (いずれかに ○を記入)	
<b>「A. 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)」に関する評価</b>	未達成	達成
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与		
A-2. 利他的な態度		
A-3. 人間性の尊重		
A-4. 自らを高める姿勢		
<b>「B. 資質・能力」に関する評価</b>	未達成	達成
B-1. 医学・医療における倫理性		
B-2. 歯科医療の質と安全の管理		
B-3. 医学知識と問題対応能力		
B-4. 診療技能と患者ケア		
B-5. コミュニケーション能力		
B-6. チーム医療の実践		
B-7. 情報・科学技術を活かす能力		
B-8. 社会における医療の実践		
B-9. 科学的探究		
B-10. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢		
<b>「C. 基本的診療業務」に関する評価</b>	未達成	達成
C-1. 基本的診療能力等		
C-1 (1) 基本的診察・検査・診断・診療計画		
C-1 (2) 基本的臨床技能等		
C-1 (3) 患者管理		
C-1 (4) 患者の状態に応じた歯科医療の提供		
C-2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等		
C-2 (1) 歯科専門職間の連携		
C-2 (2) 多職種連携、地域医療		
C-2 (3) 地域保健		
C-2 (4) 歯科医療提供に関連する制度の理解		